

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 多治見工業高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年 5月29日(月) 13:30~15:30
- 3 開催場所 多治見工業高等学校 会議室  
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者  
会長 加藤 賀裕 多治見市青年会議所理事長(欠席)  
副会長 加藤 隆浩 前育友会長  
委員 山本 博子 Mama's Café 理事長  
水野 靖子 育友会副会長  
加藤 亨 明和工業株式会社 管理部部長  
山本 和彦 本校同窓会 役員  
齋藤 哲弥 地域代表  
村松 敦子 養正公民館 館長

### 学校側

- |       |           |
|-------|-----------|
| 中田 卓生 | 校長        |
| 田口 稔  | 教頭        |
| 永瀬 雅彦 | 事務長       |
| 青山 知喜 | 教務主任      |
| 加藤 龍輔 | 生徒指導主事    |
| 加藤 嘉憲 | 進路指導主事    |
| 和田 正行 | 工業部長 (欠席) |

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) 令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画について

- ①教務部 「今年度の方針と重点」について
- ②生徒指導部 「指導の目標、重点項目」について
- ③進路指導部 「近年の進路状況」について
- ④工業部 「確かな学力の育成と多様なニーズに対応した工業教育の推進」について

#### (2) 「本校に期待すること」について

意見1：入学志願者が定員を割り込でもある程度の資質を持った生徒を入学させることは学校の質を保つために必要である。入学志願者が定員を割り込んだのは本校だけの問題か。

⇒本校だけの問題ではなく多くの公立高校で入学志願者が定員を割り込んだ。少子化の問題もあるが、私立学校に受検生が集まっている。引続き学校PRを充実させ意欲ある生徒が受検するように本校の魅力を広く伝えていく。

意見2：昨今貧困家庭が増加し制服を買えない家庭がある。貧困家庭のために本校で制服を集める仕組みがあるとよい。

意見3：地域では多治見工業高校が一番挨拶をすると評判が良い。社会の基本は挨拶である。今年の方針に「挨拶」や「礼儀」をテーマの一つにしてはどうか。

⇒生徒が社会に出て困らないようにするために、第一に人間関係を円滑にする「挨拶」を重んじる。第二に学ぶ姿勢を大切にする。第三に時間を守る。この三つをしっかり指導することを職員で共有している。

意見4：4月、5月で自転車による交通事故が3件あることは多い。命にかかわるので是非ヘルメットの着用を指導し、自らヘルメットの着用ができるようにしてほしい。

⇒合格オリエンテーションの折に新入生に対してヘルメットの着用を推奨し、現在10名ほど着用している。今後も継続的に推奨をして多くの生徒がヘルメットを着用できるようにしたい。

意見5：ヤングケアラーが社会問題になっており、高校生にも存在している。本校でも相談できずにいる生徒がいるかもしれない。該当者でなくても知識として持っていることも重要である。本校では認知症サポート養成講座等を実施しているのか。

⇒現在は実施していない。昨年度ヤングケアラーに関する調査があり、大きな社会問題と捉えている。今後前向きに検討する。

意見6：近隣の地域に就職が流れている中、地元企業の合同説明会に参加する等、地元への就職指導に取り組んでいることはよいことだ。また、話を聞くだけでなく現場を見て肌で感じ魅力を知ってほしい。さらに他の方法で地元企業と連携し繋がりを強くしていくことが大切である。例えば、生徒が企業に出向いて技術指導を得る取組みがあるとよい。その取組を通して本当の魅力を発見できる。

意見7：幸せな人生を送るために、自分の時間をどのように使っていくかは大切である。通勤時間の違いによってライフスタイルが変わってくることを踏まえた進路選択も必要である。

意見8：「卒業生と語る会」を見学して、卒業して2、3年しか経っていないが力強く頼もしかった。生徒はすばらしい卒業生の話を聞いて、自分が本当に何をしたいのかを考え、どのように進路選択をしていくのか参考になっている。この授業から何か気づき人生に生かし、そして楽しめる仕事を選んでほしい。また、多様化する進路希望に対応するために、進学して社会人になった卒業生も呼んでほしい。

意見9：進学希望者には、進学先の学校を卒業した後の就職先まで考えた指導をするのか。

⇒担任を中止に就職先を見据えた学校選びを指導している。

意見10：本校の魅力の一つである海外インターンシップが今年度も新型コロナウイルス感染症の関係から中止であるのは残念である。1年前からの計画で見通しが立たないが柔軟に対応できるとよい。

## 6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、前年度承認されたスクールポリシーに即した令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画について説明を行い、全委員より承認が得られた。会議前に授業見学「卒業生と語る会」を見学し、進路指導に関する多くの意見をいただき、今後のキャリア教育の在り方について参考になった。また委員は地域の安全、少子化、貧困、福祉などの課題解決に本校教育にも期待されており、具体的な意見や提案が多くあった。今後も工業高校として地域との連携を密して学校運営にする必要がある。